

(8) 住宅の断熱材はどのようにつくられているのだろう

株式会社デコスでは、新聞紙をリサイクルしてセルロースファイバー断熱材をつくっています。

セルロースファイバー断熱材

断熱材とは？

家の肌着のようなもの。家をすっぽり包み込んで熱を伝えにくくし、夏の暑さや冬の寒さから住む人を守っています。すべての家にあります。



セルロースファイバー断熱材の主な原料は？

新聞紙です。1軒の家に約1トン使います。自宅に配達される新聞紙を集めると15年くらいで1トンになります。

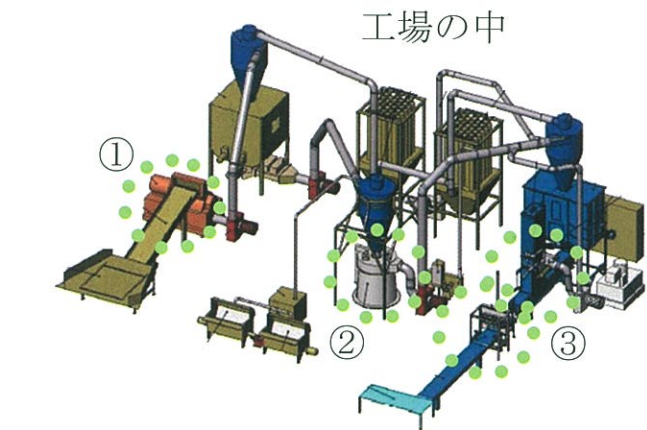
どうやってつくるの？



①新聞紙を機械に入れて粗く碎きます。



②細かく碎いて綿のようになります。



約1トンの新聞紙

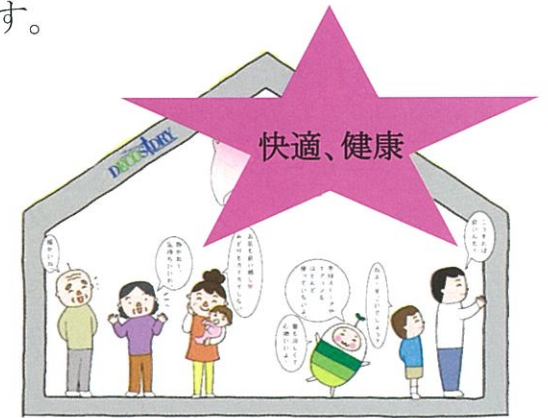


③15kgずつ袋に詰めて製品になります。

できあがった製品は、消費エネルギーが少ない貨物列車を利用して輸送します。

セルロースファイバー断熱材の特長は？

夏の暑さや冬の寒さが家の中に伝わりにくいので、冷暖房機にかかる電気代などが節約でき、人と環境に優しいリサイクル製品です。燃えにくく防音にも優れ、かびの発育やシロアリの被害を防ぐ性能もあります。また、夏は湿気を吸って家の中を快適にし、冬は湿気を放出して乾燥を防ぐ機能があります。



セルロースファイバー断熱材はどのようにして家を包むの？

家を包む方法は、特許を取っています。専門の人が施工します。



壁にシートを貼り、空間をつくる。



空間に断熱材を入れる。



壁と屋根などに入れて完了する。家が完成すると見えなくなる。

工場働く人の話



主な原料が新聞紙であることや、つくるときに使うエネルギーが小さいことなどから、山口県から「山口県エコ・ファクトリー」に認定されました。これからも、住む人の健康や省エネルギーを考え、断熱材を通じて環境と社会に貢献ができればと思っています。



【情報提供】株式会社デコス (下関市) <http://www.decos.co.jp>